

新潟県初の女性交通管理隊員

新潟地域の高速道路の料金管理業務と交通管理業務を行うネクスコ・サポート新潟。昨年9月に入社した渡辺真理さんと内山弥生さんは新潟県で初の、そして同県で2人だけの女性交通管理隊員だ。事故・故障車の対応、道路情報の提供、法令違反車両の取り締まりなどの業務のうち、メインは道路巡回。2人が所属する新潟交通管理事業所では365日24時間体制で、25名の隊員が交代で交通・道路・気象情報を収集している。

落下物排除や事故対応に尽力

事故や故障、人の立ち入りなどに対応する中、最も多い業務は落下物の排除だ。走行車が途切れるのを見計らい、回収するが、渡辺さんは初めて高速道路に降りた時の緊張を「訓練の時よりずっと、走行車の速度が速いと感じました」と語る。内山さんは「最も驚いた落下物はユニットバス一式ですが、運転中のお客様さまが気付きにくい、ベニヤ板などの平たい物も危険です」と指摘する。2人がやりがいを感じるのは、事故対応などで感謝された時。事故で混乱している人を安全な場所に誘導し、優しく声をかけると、ほっとした表情で「ありがとう」と言われる。



役に立てた喜びを感じる瞬間だ。

内山さんは防災イベントで交通管理隊の仕事を紹介した際、駆り出された他部署の女性社員と思われたことがある。女性隊員はまだ珍しい存在だが、渡辺さんは「女性も活躍できる仕事。将来の女性隊員のロールモデルになれば」と思っている。

「優秀な隊員」と隊長も太鼓判

身内を交通事故で亡くし、事故減少に寄与したいと入社した渡辺さん。内山さんは自動車整備を学んだ経験を生かし、仕事に励む。「短期間で

ここまで成長するとは優秀」と目を細める隊長は2人を「一生懸命な姿勢が素晴らしい」と評価している。

2人が心がけているのは「安全第一」。この冬は暖冬小雪で苦労は少なかったが、「例年は24時間現場に出っぱなし」という雪氷期に向け、訓練を怠らない。今後は「できることを増やしたい」と内山さん。渡辺さんは「突発的なことに的確に対応できるよう、いろいろ経験したい」と意欲的だ。事故の未然防止に力を尽くす2人は「皆さまも安全運転をお願いします」と締めくくった。

ハイウェイを 支える人々

Vol. 39

高速道路の裏側に潜入

高速道路を利用するお客さまの安全を守る「交通管理隊」。新潟地域初の女性交通管理隊員として活躍する2人に日々の仕事や心構え、将来の目標などについて伺いました。

株式会社ネクスコ・サポート新潟 新潟交通管理事業所



交通管理隊
内山弥生さん

交通管理隊
渡辺真理さん



2



4



1



3

1. 協力し合う明るい職場。巡回の引き継ぎに身が引き締まる
2. 事故現場で交通規制。旗振りや車載式LED標識で標示を出す
3. 隊員同士の無線で「女性の声だと聞き取りやすい」と好評
4. 交通管理技術向上のために、日々の訓練や実務研修を実施